

職業奉仕が難しいと言われる訳

職業奉仕（Vocational Service）はロータリーの根幹的な目的と言われております。ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕の実践にあるとさえ言われています。

ところが、残念なことに、職業奉仕はわかりにくいと多くのロータリアンは言います。では、何故わかりにくいのか？

一つは、「職業」と「奉仕」が一つの言葉となっているため理解し難くなっていると思います。つまり、「職業」とはお金を儲ける手段であり、自分の為にすることです。他方、「奉仕」というのは、世の為、人の為にすることで、自分以外の人の為に何かをすることであり、「自分の為の職業」と「他人の為の奉仕」は、エネルギーの方向が逆です。

従って、職業というものは奉仕にはならないと考えられています。実は、ロータリークラブ以外の奉仕クラブであるライオンズクラブ、キワニス、コスモポリタンなどは、職業と奉仕とは全く別の世界に存在するもので、奉仕をしようと思えば、職業以外の方法、例えば、職業によって儲けたお金の一部を社会に寄付するとか、余った時間、労力でボランティア活動したりすることを奉仕と考え、職業そのものを奉仕とは考えていないのです。

我々のロータリーとは、そこが、大いに違うのであります。

ロータリーは職業を営む心、即ちお金を儲ける心と、世の為、人の為に奉仕する心とが、同じ一つの心と考えているのです。

一つの心を以て職業を営み、そして奉仕する。世の為、人の為に奉仕する心を以て倫理的に職業を営みなさいとロータリーは言っているのです。

ここが、他の団体、クラブと根本的に異なっており、「職業奉仕」という言葉が、唯一、ロータリーだけの専門用語となっているため、一般の人には解りにくくなっていると思います。

然し、ロータリアンである以上「職業奉仕」について、どうしても理解しておかなければなりません。

でも、職業奉仕について、どこにそんなことが書いてあるのか疑問を持たれたのではないのでしょうか？

今回は、「むつかしくない職業奉仕」というタイトルです。